

## 2022WTCS 横浜大会

# オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

【TO/テクニカル・オフィシャル用】

第 1.1 版

作成者	宮城 信隆
作成日	2022年5月1日
最終更新日	2022年5月1日

## 目次

1. 活動概要	2
2. 大会概要	4
3. コースマップ	6
4. スイムTO配置図	7
5. タイムテーブル	9
6. 全体の業務詳細	11
7. スイム業務のルール	13
・業務詳細・留意事項	15
・メディカル体制	20
・備品一貫	21
・サインージ	22
・改版履歴	23

## 1. 活動概要

### 2022年5月13日(金) 大会前日(エリートレース前日)

・エリートポジション各時間帯で受付。※健康チェックシートの提出(忘れずに!)

### 2022年5月14日(土) エイジレース前日(エリートレース当日)

時間	活動内容	場所	備考
05:30	TO 集合・受付	山下公園 KnTU テント	・検温・リストバンドの装着をお願いします。 (健康チェックシートを前日提出していない方は提出してください)
06:50-15:00	(エリートレース)	(各ポジション)	
16:00~	レスキューシュミレーション	山下公園氷川丸側棧橋	・エイジレース当日担当者は出席してください。(松村さん・田口さん)
16:30-17:00	スイム TO ミーティング	山下公園スイムエリア (ポンツーン付近)	・エリートレースの対応終了後、集まってください。※レスキューシュミレーションが終了までお待ちください。
17:00 過ぎ	解散	山下公園スイムエリア	・翌日も早いのですが宜しくお願いします。

### 2022年5月15日(土) エイジレース当日

時間	活動内容	場所	備考
05:30	スイム TO 集合	山下公園 KnTU テント	・検温・リストバンド装着をお願いします。
05:40~	受付	山下公園スイムエリア	・ <u>スイム C がまとめて受付</u> します。 ・全体 MTG

05:45-05:50	スイム TO プリーフィング	山下公園スイムエリア	・スイムエリアへ移動
05:50-06:45	スイムエリア設営・準備	山下公園スイムエリア	・各ポジションの SCTO を中心に、設営・準備をお願いします。
06:45	スイムチェックイン開始	山下公園スイムエリア	
07:15/7:20	スイム競技スタート	山下公園スイムエリア	・ <u>エイジパラ TRI-6/その他 (TRI-1~5)</u>
07:15-12:00	(エイジ・スイム競技)	山下公園スイムエリア	
12:00	スイム競技終了	山下公園スイムエリア	
12:00-12:30	スイムエリア片付け	山下公園スイムエリア	
12:30 頃	スイム TO デブリーフィング	山下公園スイムエリア	・
12:40 頃	スイムパート解散	山下公園スイムエリア	
12:40 頃-	昼食 (*1)	山下公園 KnTU テント	・隣の方と <b>1.5m以上</b> の間隔を確保して、 <b>黙食の徹底</b> をお願いします。
-14:30 頃	他パートの応援	(各ポジション)	・スイムパートの業務終了後、他パートの応援をお願いする場合がありますので、ご協力いただけますようお願いいたします。
14:30 頃	解散	山下公園 KnTU テント	

### 連絡先 (エイジレース前日・当日)

大会期間中の遅刻・欠席の連絡は下記へ必ずお願いします。

KnTU 本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277

CTO (宮城 信隆) : 090-3436-1999



QRコードやリンクを使って、友だち追加しましょう。



宮城 LINE-QR ↑ ↑

・5月10日までを目安に宮城へ申請してください。  
スイムエリア LINE-Gr 作成予定 (必ずわかる名前で)

※上記2名に連絡してください。

## 2. 大会概要

### 3-1. 競技カテゴリー/距離

カテゴリー		距離	スイム	バイク	ラン
エイジパラ	TRI-1	25.75km	0.75km (0.75km×1周)	20km (5-km×4周)	5km (5km×1周)
	TRI-2~6	25.75km	0.75km (0.75km×1周)	20km (5km×4周)	5km (2.5km×2周)
スタンダード		51.5km	1.5km (0.75km×2周)	40km (6.7km×6周)	10km (5km×2周)
リレー		51.5km	1.5km (0.75km×2周)	40km (6.7km×6周)	10km (5km×2周)
スプリント		25.75km	0.75km (0.75km×1周)	20km (6.7km×3周)	5km (5km×1周)



World Triathlon  
Championship Series  
YOKOHAMA  
2022



大会当日の流れ  
スイムウォームアップ

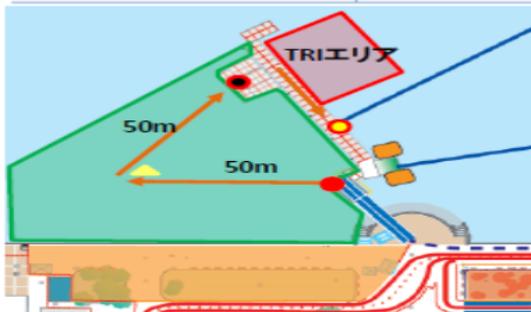
#### スイムウォームアップ【必須】

※出場グループによって、開始時間が異なります。下記参照。

#### 注意事項

- スイムウォームアップを行わない場合は、競技に参加することはできません（DNSとなります）。
- スイムチェックインを必ず済ませ、計測チップ（アンクルバンド）を受け取ってください。
- スイムウォームアップは、ウェーブごとにTOの指示で順次スタートとなります。  
※スイムウォームアップ後そのままスタート地点(ポンツーン)へ移動し、整列後にローリングスタートとなります。
- スイムスタート前に試泳を行い、体の状態を確認しましょう！

グループ	スタートウェーブ	スイムウォームアップ時間
TRI	TRI	7:00~7:15
Aグループ	第1ウェーブ	7:50~8:10
	第2ウェーブ	
	第3ウェーブ	
Bグループ	第4ウェーブ	8:55~9:10
	第5ウェーブ	
	第6ウェーブ	
	第7ウェーブ	
Cグループ	第8ウェーブ	9:55~10:12
	第9ウェーブ	
	第10ウェーブ	
Dグループ	第11ウェーブ	11:00~11:12
	第12ウェーブ	
	第13ウェーブ	
	第14ウェーブ	
	第15ウェーブ	
	第16ウェーブ	



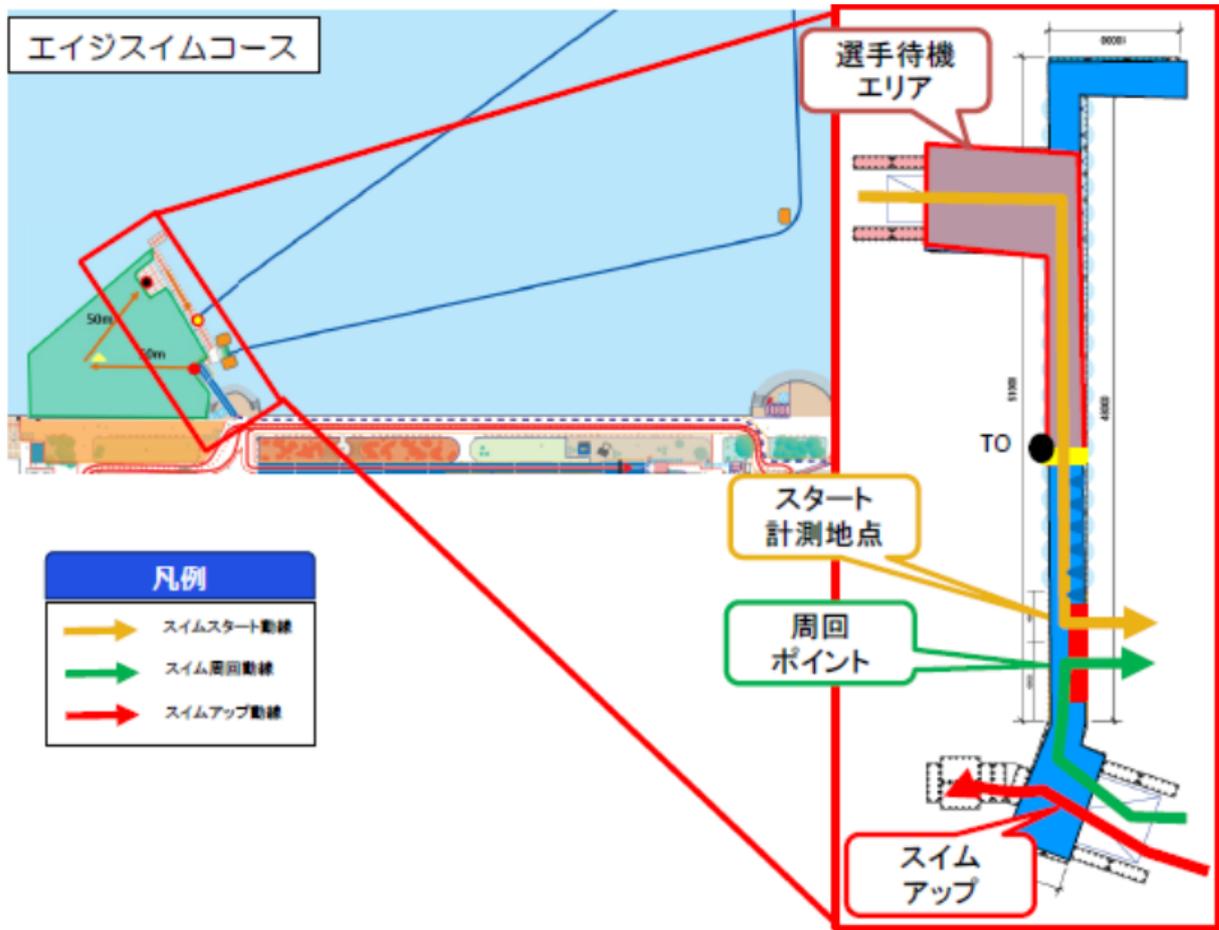
#### 凡例

- 試泳入水場所
- 退水場所
- スイムスタート場所
- 選手動線

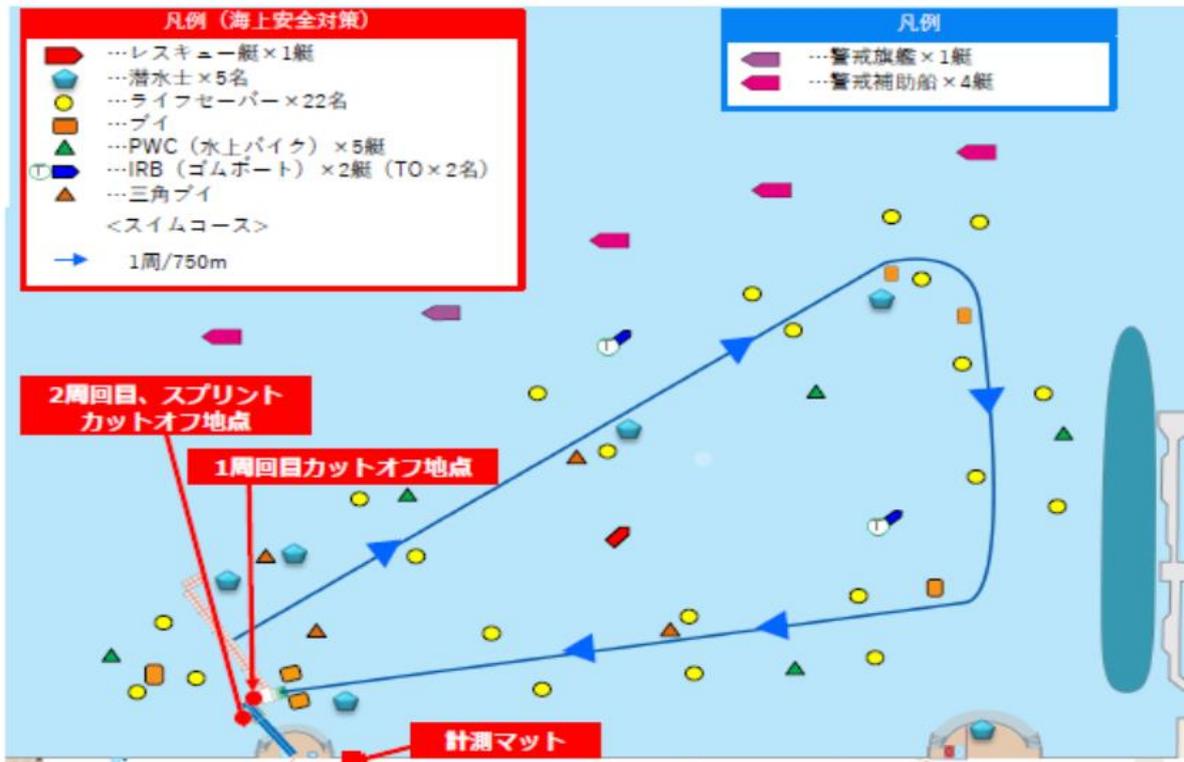
#### 注意事項

- 着用しているマスクは試泳前に外してください。  
※外したマスクは、試泳前に設置しているごみ箱へ入れてください。
- 着用していたマスクは廃棄しますので、使い捨てのものを着用してください。
- 試泳は、1周（100m）です。
- パラの試泳はスタートエリアで行います。

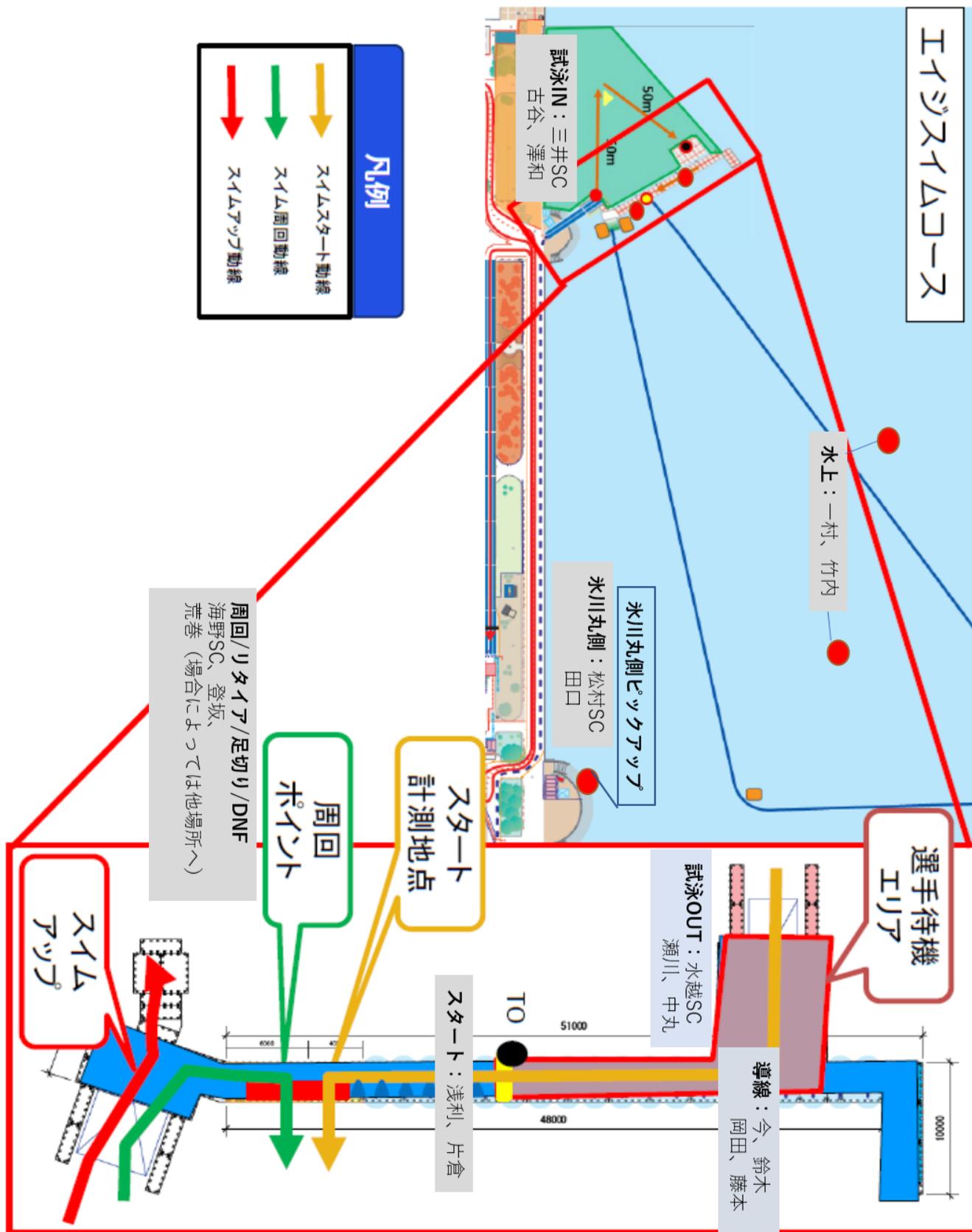
### 3. コースマップ



#### ・海上配置



4. スイムTO配置図 (総勢：20名体制)



## スイムエリア TO 配置・詳細

### 試泳 IN : 三井 SC・古谷・澤和

- ・召集エリアから選手が移動してくるので選手をスムーズに試泳へ誘導。  
(タイムチャート確認 (多少早めの入水は可))

### 試泳 OUT : 水越 SC・瀬川・中丸 (SEA 業務終了で合流)

- ・試泳後の選手をスムーズに待機エリアに誘導。
- ・試泳後の選手引き上げサポートも行う。

### 待機エリアからスタート前導線 : 鈴木・今・岡田・藤本

- ・選手を3人 (横並び) でディスタンス 1.5mを保ちスタート線まで誘導と整列
- ・各ウェーブスタート時間 (オンタイムを意識し) とポンツーン上の重量注意 (ぐらつき、沈み)

### スイムスタート : 浅利・片倉

- ・オンタイムスタートを意識し選手をスタートさせてください。
- ・3人 / 5秒 (s) 毎のローリングスタートを大会側 (iPad) or 個人携帯で5秒 (s) 間隔音で選手をスタートさせてください。

### 周回、リタイア、制限時間オーバー、DNF : 海野 SC・登坂・荒巻 (SEA 業務終了後で合流)

- ・選手への周回、フィニッシュの誘導。
- ・制限時間オーバー (足切り)、リタイア、DNF 対応  
(選手のアンクルバンド写真撮影→各 Gr-LINE へ送信)
- ・リタイア者の介護と召集エリアまでの誘導
- ・リレー参加選手のスイムリタイア、制限時間オーバーはトランジ担当者へ LINE 連絡  
(アンクルバンド写真撮影送信)

### 氷川丸側 TO : 松村 SC・田口

- ・主にリタイア選手の引き上げ場所 (選手のアンクルバンド写真撮影し Gr-LINE 送信)
- ・リタイア選手の介護 (場合により救護へ連絡 (LINE))

### 会場 TO : 一村・竹内

- ・制限時間オーバー選手をライフガードに連絡、引き上げ
- ・水上での選手監視 (泳ぎが不安定な選手に声掛け、休憩、リタイア促し)



[B]ポンツーン・通路/試泳INエリア		[C]ポンツーン・スタートエリア		[D]安全管理	[C]ポンツーン・試泳OUT		
CTO 宮城							
SCTO三井		SCTO海野		SCTO松村	SCTO水越		
ポンツーン移動	試泳スタート 3名5s間隔でスタートすれば 時間内で試泳スタート出来る	ポンツーン待機 (目安)	スタート (ローリングスタート) ※5s間隔3 名ずつ	第1ブイ制限 (目安)	1周回制限 (目安)	制限時刻 (目安)	キャップ
07:00	-	07:00-07:15	<b>07:15/07:20</b>	※パラは45分以上で足切り	-	08:00/08:00	-
-	-	-	-	-	-	-	-
07:48-08:00	<b>07:50</b> -07:52 (50人) 07:58-08:02 (99人)	07:52-08:05	<b>08:00</b> -08:05	08:30	<b>08:43</b> (22分30秒) ※この時間でまだ黄色選手が泳いでいたらCheck!	<b>09:05</b>	ピンク
08:00-08:07	<b>08:02</b> -08:09	08:04-08:12	<b>08:06</b> -08:12				ブルー
08:07-08:14	08:09-08:16	08:11-08:20	<b>08:13-08:20</b>				イエロー
-	-	-	-				-
08:53-08:57	08:55-08:57 (50人) 09:03-09:03 (15人)	08:57-09:07	<b>09:05</b> -09:07	09:30	<b>09:46</b>	<b>10:08</b>	ホワイト
09:02-09:05	09:04-09:07	09:06-09:10	<b>09:08</b> -09:10				イエロー
09:06-09:09	09:08-09:11	09:10-09:16	<b>09:11</b> -09:16				グリーン
09:10-09:14	09:12-09:16	09:14-09:20	<b>09:17-09:23</b>				レッド
-	-	-	-	-	-	-	-
09:53-10:05	09:55-09:57 (50人) 10:03-10:07 (100人)	09:57-10:09	<b>10:05</b> -10:09	10:32	<b>10:45</b>	<b>11:07</b>	ピンク
10:06-10:09	10:08-10:11	10:10-10:14	<b>10:10</b> -10:14				ブルー
10:10-10:13	10:12-10:15	10:14-10:19	<b>10:15</b> -10:19				オレンジ
10:14-10:16	10:16-10:18	10:18-10:21	<b>10:20-10:22</b>				ホワイト
-	-	-	-	-	-	-	-
10:58-10:59	11:00-11:02	11:02-11:10	<b>11:10</b> -11:12	11:32	-	<b>11:46</b>	ピンク
11:02-11:05	11:04-11:07	11:10-11:13	<b>11:12</b> -11:15				グリーン
11:07-11:10	11:08-11:11	11:13-11:16	<b>11:15</b> -				オレンジ
11:11-11:13	11:12-11:15	11:16-11:17	<b>11:17</b> -				ホワイト
11:14-11:16	11:15-11:18	11:18-11:20	<b>11:19-11:21</b>				ブルー

※試泳 I N / OUT の誘導、選手待機エリアからスタート場所までの導線（ディスタンス、私語注意）

※オンタイムでのスタート管理（3人/5秒スタート）

## 6. 全体の業務詳細

1. 選手誘導・待機時はディスタンスを守り（1.5m）主語を慎む。（TOが都度アナウンスする）
2. 試泳必須（1周回／100m）をマイペースで泳ぐ様促す。
3. スイムスキップ制度 スイム召集場所から試泳エリアに来た選手はスキップ出来ない。  
ブルーカーペットに入る前にスイムに自信のない方にスキップを促す。  
※DNS扱いになる。
4. 昨年より試泳入水場が広くなりました。また退水時のスロープも緩やかになる予定（潮の満ち引きで変わる）
5. 試泳後は速やかに選手待機場所へ移動しスイムスタート地点までは3名横列で待機、進む。
6. エイジパラ選手のスタートは2部制  
（TRI-6/7:15～ TRI1～5/7:20～のウォーターインスタート方式）
7. エイジスタートは3人／5秒のローリングスタート方式  
スタート担当TOはiPad若しくは自身の携帯電話で5秒置き吹鳴（無限ループで）
8. スタンド2周回目とスイムフィニッシュの誘導をお願いします。
9. スイムリタイア（引き上げ）の選手は①氷川丸 ②ポンツーンにライフガード運んでもらい選手の状態確認とアンクルバンド回収・写真撮影・Gr-LINEでの報告をお願いします。
10. リレーでのリタイア（引き上げ）は競技継続できるため選手のナンバー（写真）と連絡をトランジ担当者へ連絡してください（人数が少ないので無線も可）
11. 制限時間オーバー（足切り）選手には丁寧に状況を伝え、その後のレース継続が出来ない事を勧告してください。※ある大会でアンクルバンド回収もトランジへ戻りバイク→ラン競技を継続した選手が実際にいました。

## TO 体制表 (スイム)

No	エリア・役割	ポジション	名前	無線	トラメガ	備考
1	全体統括	CTO	宮城 信隆	○	○	マイク式腰にスピーカー
2	ポンツーン・通路/試泳 IN	SCTO	三井 はるみ	○	○	マイク式腰にスピーカー
3	ポンツーン・通路/試泳 IN		古谷 勝義			
4	ポンツーン・通路/試泳 IN		澤和 信二			
5	ポンツーン・試泳 OUT・通路	SCTO	水越 照夫	○	○	マイク式腰にスピーカー
6	ポンツーン・試泳 OUT・通路		瀬川 幸子			
7	ポンツーン・試泳 OUT・通路		中丸奈緒美			(SEA 終了後、スイム対応)
8	ポンツーン・試泳 OUT・通路		鈴木 正人			
9	ポンツーン・試泳 OUT・通路		今 雅利		○	マイク式腰にスピーカー
10	ポンツーン・試泳 OUT・通路		岡田 展生			
11	ポンツーン・試泳 OUT・通路		藤本実和子			
12	スタート		浅利 峰欣			
13	スタート		片倉 義之			
14	情報連携・記録	SCTO	海野 浩	○	○	マイク式腰にスピーカー
15			登坂 高志			
16			荒巻 大成			(SEA 終了後、スイム対応)
17	安全・情報連携・記録	SCTO	松村 一彦	○		氷川丸側リタイヤ管理
18	安全・情報連携・記録		田口 留美子			氷川丸側リタイヤ管理
19	安全・情報連携・記録		一村多美代	○		救助船
20	安全・情報連携・記録[D]		竹内 朝音	○		救助船

※水上TOは防寒対策&濡れても良いものを着用してください。

## 7. スイム競技のルール

### ■ 競技規則

- JTU (日本トライアスロン連合) 競技規則 (2019年1月改定版) 及びローカルルールを適用して実施する。
- 記録はアンクルバンドで計測する。計測マット上を通過しフィニッシュまで計測する。不通過の場合は完走扱いにならない。
- リタイアする場合、選手は近くの TO にレースナンバーと理由を伝え、アンクルバンドを選手自ら渡す。(コロナ対策)
- スタートは、カテゴリーごとに下記とする。

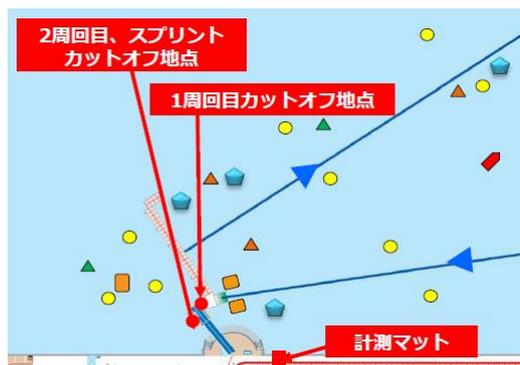
カテゴリー	スタートプロトコル
エイジパラ	<b>ウォーターインスタート</b> ※全選手がポンツーンから海に入りスタート(07:15/7:20スタート)
スタンダード	<b>ローリングスタート</b> ※5秒ごと3名ずつスタートする。 ※マットを通過した時点で計測開始とする。
リレー	
スプリント	

- 各種目における周回数は選手自身が責任をもって管理し、競技する。周回不足はDNFとする。
- 本大会は、トライアスロン用(厚さ5mm以下)のウェットスーツ着用を義務とする。
- JTU 競技規則により、前面部にファスナーが付いたウェアの着用は禁止とする。前空きウェアしか持っていない選手は、前ファスナーを閉めることで競技継続を認める。

### ■ 制限時間 (スイム)

- 各カテゴリーにおいて、下記の制限時間とする。

カテゴリー	距離	制限時間
エイジパラ	0.75km (0.75km x 1周)	・スタートから <b>45分</b> を目安とする。 ※25分経過時点(07:45)でまだスイムフィニッシュしていない選手がいる場合、その選手がしっかり泳いでいて安全性に問題がない場合は、45分(08:05)までスイム続行可能とする。
スタンダード	1.5km (0.75km x 2周)	<b>&lt;1周回目&gt;</b> ・各グループ最終選手スタートから <b>22分30秒</b> <b>&lt;2周回目&gt;</b> ・各グループ最終選手スタートから <b>45分</b>
リレー		
スプリント	0.75km (0.75km x 1周)	・各グループ最終選手スタートから <b>25分</b>



■ カットオフ

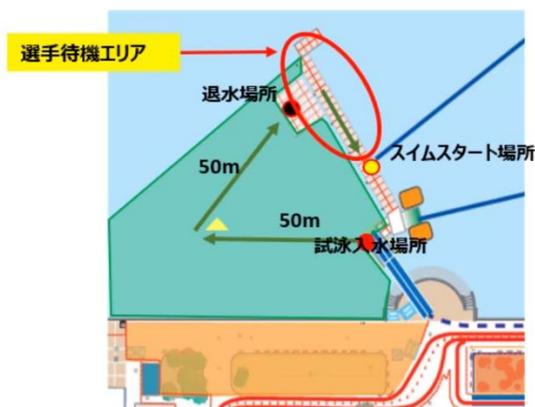
- スイム制限時間内であっても、水上 TO やライフセーバーが危険もしくは競技続行と判断した場合、時間内の完泳が難しいと判断した場合は競技中止(リタイア)を勧告する。
- 競技中止(リタイア)を勧告された選手は、必ず指示に従うこと。

■ スイムスキップ

- 本大会では、全カテゴリーにおいて、スイムスキップを認める。
- スイムスキップを希望する選手は、当日スイムスキップ受付にて申告する。
- 試泳後のスキップは認めない。リタイア扱いとする。
- バイク・ランのタイムは計測するが、参考記録扱いとし表彰対象にはしない。
- スキップ選手のスタートは、5 秒間隔 3 名ずつのローリングスタートとする。

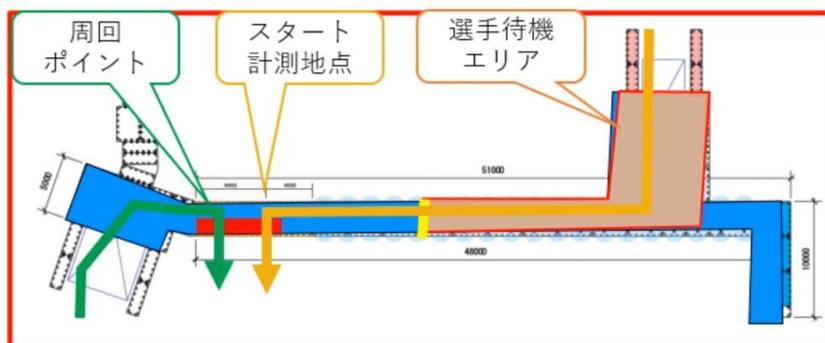
試泳 (ウォームアップ)

- 試泳を行わない場合は、競技に参加することはできない。
- 試泳は、ウェーブ毎に TO の指示で順次スタートする。5 秒間隔で 3 名ずつローリングスタートする。
- スタートのタイミングは、スイムオペレーションタイムマニュアルに従って実施する。
- 試泳後ポンツーン上の退水場所に上陸し、順次スタートする。(3 人 / 5 秒のローリングスタート)



■ ローリングスタート (パラ以外)

- 選手は、試泳後に 2m 以上の距離を保ちポンツーン上で整列する。
- **会話は禁止**とする。(マスクを外した状態であるため)
- TO の合図により、5 秒間隔で 3 名ずつローリングスタートする。
- 入水は足からとする。※飛び込みは禁止。



#### ■ レスチューブ

- 本大会では、「レスチューブ」の装着を認める。
- レスチューブを膨張させた場合はリタイア扱いとする。(DNF とする)



#### タイムテーブル

- ✓ スイムパートでのオペレーションにおける、各カテゴリー、グループ、ウェーブ毎のタイムテーブルについて、事前に大枠を把握してください。
- ✓ コロナ対策を踏まえて、選手がソーシャルディスタンス 2m を確保し、一方通行にて行動できるよう、細かくタイムテーブルを設定しています。また、ポンツーンでの選手待機人数制限(50 人)を確保しながら運営するために、エリア間で連携して選手を適切に誘導する必要があります。
- ✓ 各ウェーブのスタート時間を起点としてタイムテーブルを設定しておりますので、**担当するエリアのスケジュールを確認すると合わせて、全体の流れの中での各エリアの位置づけを把握**するようにお願いします。

## ・業務詳細・留意事項

### ・共通事項

共通事項については、ポジションに関係なく確認してください。  
選手からの質問や、近くのポジションへの協力等、速やかに対応できるようにお願いします。

#### ■ 連絡体制

- 競技中の選手が緊急事態に陥った場合の救助ルート・連絡体制を事前に把握してください。
- DNS/DNF/スイムスキップの連絡について、LINE グループを作成して情報共有します。

#### <LINE グループでの連絡>

LINE グループには、スイムパート及び、情報が必要な各関連パート・部門のメンバーを登録する。

- ✓ スイム ⇒ CTO、SCTO、及び TO(情報管理が必要なメンバー)
- ✓ トランジション ⇒ CTO、SCTO、及び TO(スキップ対応者等)
- ✓ 本部・CC
- ✓ メディカル
- ✓ TL、TD、aTD、HR、aHR

■ リタイア選手対応

- リタイア選手の状態を確認してください。
- アンクルバンドの回収を行う。**※アンクルバンドは、エリア毎に集約してポリ袋に入れて管理してください。**
- メディカルの対応が必要な選手は、メディカルへ引き渡してください。
- リタイア選手へマスクを渡し、着用してもらってください。（氷川丸、ポンツーンに準備する）
- **リレー選手がリタイアした場合は、トランジションへ無線でレースナンバーを伝達してください。（LINE 併用）**
- エリア毎に担当チームがアンクルバンドをグループ毎に整理し、番号が見えるように写真撮影してください。
  - ✓ 氷川丸側担当：安全管理（松村さん、田口さん）
  - ✓ ポンツーン側担当：情報連携・記録・誘導（海野さん、登坂さん、荒巻さん）
- 担当チームより、撮影したアンクルバンドを、LINE グループへ共有してください。

■ スキップ対応

今回はスイム召集チームが行う。

■ 給水対応

- 招集エリアチームが実施。
- ポンツーン上においては TO からの給水対応は実施しないでください。（給水はありません）  
（コロナ感染防止対策として、紙コップ等による給水を禁止します。）  
⇒給水が必要な選手に対してはメディカルに連携し、メディカルから給水対応するようお願いします。

■ 落とし物対応

- 落とし物(スイムキャップ・ゴーグル等)は、TO が回収し、競技終了後に大会本部へ届けてください。

## ・ 試泳

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーン・通路/試泳エリアの設営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンの通路に、カラーコーンを用いて「試泳」「スイムアップ」の導線を区分けする。</li> <li>・メガネ預かり所をポンツーン出口に設営する。</li> <li>・マスク用ゴミ箱を設置する。</li> </ul>
2	コロナ対策の設営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒用アルコールを配置する。</li> <li>・アスファルトエリア・ポンツーンに、ガムテープ(白)にてソーシャルディスタンス 1.5m間隔の目印をつける。</li> </ul>
3	ポンツーン通路誘導		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェーブ毎にポンツーン移動の時間を確認し、時間になったら順番に試泳エリアへ移動するよう誘導する。</li> <li>・ポンツーン移動時に 1.5m のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。</li> </ul>
4	試泳タイミングのコントロール	宮城 C 三井 SC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムテーブルに従って、試泳のタイミングをコントロールする。</li> <li>・5 秒間隔で 3 名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる。(iPad にアプリを入れて 5 秒間隔で電子音を発生させる)</li> <li>・入水時には足から海へ入るよう指示する。(頭からの飛び込みは禁止)</li> <li>・試泳後のポンツーンにて、待機人数に注意しポンツーン側の TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする。</li> </ul>
5	マスク回収		<ul style="list-style-type: none"> <li>・試泳直前に選手のマスクをゴミ箱に回収する。(ゴミ箱 3 個)</li> </ul>

## ・ポンツーン・スタート

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーン・スタートエリアの設営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーン上にパイロンを設置し、選手導線を設営する。</li> </ul>
2	コロナ対策の設営	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンに、ガムテープ(白)にてソーシャルディスタンス 1.5m間隔の目印をつける。※2021 年はすぐに剥がれてしまった。</li> </ul>
3	水温・気温計測	宮城 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温/気温を計測し、TD へ連絡する。</li> </ul> <p>&lt;測定時刻&gt;</p> <p>06:30 スイムコース 3 か所にて計測</p> <p>07:00,08:00,09:00,10:00,11:00 ポンツーン上にて計測</p>
4	試泳監視	三井 SC 水越 SC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試泳している選手に異常がないか監視する。</li> <li>・試泳が終了して、ポンツーンへ上陸する選手を誘導する。</li> <li>・試泳を 2 周回しないようコントロールする。</li> </ul>
5	選手待機場所コントロール	水越 SC 瀬川 中丸 鈴木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試泳終了後にポンツーン上でスタートを待っている選手を 1.5m のソーシャルディスタンスを確保するよう整列させてコントロールする。</li> <li>・ポンツーン上に待機する選手はポンツーンの状態（揺つき、沈</li> </ul>

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
		今岡田藤本	み) などを見ながら最大 50 人を目安としてコントロールする。 ・待機人数が目安を超える場合には、試泳スタートの TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする。
6	スターター	浅利片倉	・タイムテーブルに従って、スタートのタイミングをコントロールする。 ・各グループの最初の選手のスタート時に、スタートホーンでスタートの合図を実施する。 ・5 秒間隔で 2 名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる。 (iPad にアプリを入れて 5 秒間隔で電子音を発生させる)
7	周回管理	海野 SC 登坂 荒巻	・1 周回目を終えた選手が 2 周回目に入るとき、入水位置まで選手を誘導する。 ・入水時には足から海へ入るよう指示する。(頭からの飛び込みは禁止) ・他の選手やローリングスタートの選手と接触しないよう誘導する。 ・体調不良と見て取れる選手に対しては 2 周目の入水前に必ず声がけする。 ・疲労が激しい選手、具合の悪そうな選手についてはメディカルスタッフに対応を依頼する。 ・疲労が激しい選手については、継続、リタイアの意思確認を行う。 ・継続の意思があり、継続できる状態であれば競技を継続させる。それ以外の選手はリタイア勧告を行う。
8	周回時タイムカット	海野 SC	・各グループ最終選手スタートから 1 周目で 22 分 30 秒を超えた選手に対してリタイアを勧告する。 ・
9	スイムアップ選手誘導	海野 SC 荒巻	・スイムアップシトランジションへ向かう選手を誘導する。
10	リタイア対応 (ポンツーン側)	海野 SC 登坂	・救助船で搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う。 ・選手からアンクルバンドを回収する。 ・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を、無線でトランジションへ連絡する。
11	アンクルバンド管理 (ポンツーン側)	登坂 荒巻	・アンクルバンドをグループごとにまとめる。

## ・安全管理

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	選手の安全管理 (救助艇)	一村 竹内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷川丸側ブイのショートカット監視を行う。</li> <li>・危険な(溺れそうな)選手の監視/声掛け/リタイア勧告を行う。</li> <li>・リタイア勧告した選手を引き上げ、バルコニーへ搬送する。(原則として氷川丸側へ搬送する)</li> <li>※緊急の場合はポンツーンへ搬送される可能性がある。搬送先については、監視船のライフセーバーと連携して決める。</li> <li>・リタイア選手を、陸上へ引き渡す。</li> <li>・各グループの最終選手スタートから制限時間を超えた選手を引き上げる。</li> </ul>
2	選手の安全管理 (陸上)	宮城 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手スタート後、陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用して、泳ぎ方、顔色等を判断する。)</li> <li>・危険な選手を発見した場合は、近くのライフセーバー、救助艇へ連絡し対応してもらう。</li> </ul>
3	リタイア対応 (氷川丸側バルコニー)	松村 SC 田口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う。</li> <li>・選手からアンクルバンドを回収する。</li> <li>・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を、無線でトランジションへ連絡する。</li> </ul>
4	リタイア選手情報共有 (LINE)	松村 SC 田口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する。</li> <li>・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する。</li> </ul>

## ・情報連携・記録

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	リタイア選手サポート(ポンツーン側)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーン・スタートJチームと連携して、ポンツーン側で引き上げられるリタイア選手のサポートを実施する。</li> </ul>
2	リタイア選手情報共有 (LINE)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する。</li> <li>・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する。</li> </ul>
3	選手の安全管理(陸上)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手スタート後、陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用して、泳ぎ方、顔色等を判断する。)</li> <li>・危険な選手を発見した場合は、近くのライフセーバー、救助艇へ連絡し対応してもらう。</li> </ul>
4	他チーム支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に余裕がある時間帯については、他チームの支援を実施する。※選手誘導、ソーシャルディスタンスコントロールなど</li> </ul>

## ・メディカル体制

### ▶ 日程・時間・人数

日程	集合時間/場所	従事時間	配置場所	医師	看護師	業務調整員	合計
5月13日	■ 6:00 コアスタッフ	6:30~ 15:30	JTUメディカル委員	2名	0名	4名	17名
	■ 6:30 全スタッフ		フィニッシュ及び 氷川丸側バルコニーメディカル	2名	4名	1名	
	県庁駐車場メディカル		1名	2名	1名		
合計				5名	6名	6名	17名

※下図参照

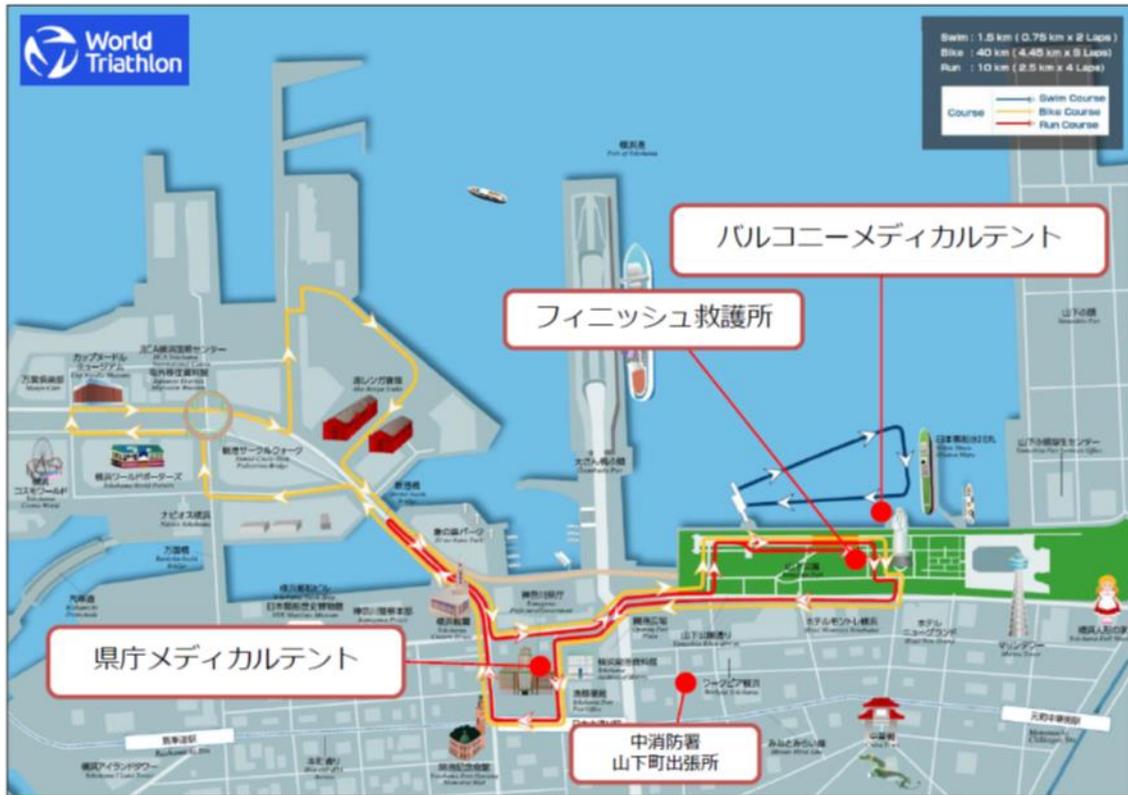
※状況によって業務時間が延びることがございます

※5月12日(木)・13日(金)は、エリート選手への医療サービスとして、相談医師を大会本部に1名待機

※岩崎学園学生:5名 フィニッシュ救護所・氷川丸側バルコニーメディカル

### ▶ 備品

AED (計2台)	各テントに1台	氷	車椅子
医薬品		水	担架
医師用自転車		ベッド	本部医師用バイク1台



## 備品一覧

No	備品名	数量	備考
1	無線機	8	
2	スタートホーン	2	
3	iPad	2	・5秒インターバル電子音発信用 ・インターバルタイマーアプリを入れて使用 ・「ローリングスタート」・「試泳スタート」にて使用
4	トラメガ	5	マイク・腰スピーカータイプ
5	ポンツーン専用マイク	1	使用しないかも？
6	ブラカード	5	
7	ブラカード用竿・看板	5	
8	テーブル	2	アングルバンド配布用×6、メガネ預かり所×2
9	椅子	8	バルコニー(氷川丸側)×4、バルコニー(ポンツーン側)×4
10	スイムキャップ予備	(適量)	
11	アングルバンド用ゴム予備	20	
12	ポリ袋(ゴミ袋)	50	氷川丸側にも
13	ゴミ箱	3	マスク廃棄用、他
14	ガムテープ(白)	8	2mのソーシャルディスタンスマーキング、他
15	ガムテープ(赤)	2	
16	ボールペン		スイム受付
17	マジック	5	バルコニー(氷川丸側)×3 バルコニー(ポンツーン側)×2
18	コーン	25	
19	コーンバー	25	
20	買い物かご		
21	気温・水温計	1	
22	竹ぼうき	1	
23	タモ	4	
24	複写紙メモ用紙		
25	選手名簿		
26	ウェーブとキャップの色が分かる資料		
27	アングルバンド装着方法の注意書き	3	
28	マスク	100	リタイア選手用。ポンツーン/氷川丸に配置。
29	フェイスシールド		TO/VO用
30	アルコール	5	各エリアに配置
31	使い捨てビニール手袋	1箱	TO/VO用
32	清拭用の布(またはペーパータオル)	25	各エリアに配置

## ・サイネージ

No	サイネージ	数量	設置場所
1		2 枚	・ポンツーン出口（選手競技導線）
2		2 枚	・メガネ預かり所
3		20 枚	・各エリアにて、選手の目につく場所へ掲示 2022 年は 1.5m 間隔。
4		10 枚	・各エリアにて、選手の目につく場所へ掲示
5		2 枚	・試泳入水エリア
6		5 枚	・アルコール配置場所に掲示
7		5 枚	・選手導線コントロール用に、各所に掲示
8		5 枚	・選手導線コントロール用に、各所に掲示
9		2 枚	・サンダル回収 BOX

※図柄・デザインは事務局にて最終決定されるため、変更される可能性があります。

## 改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
第 1.0 版	2021 年 5 月 1 日	・初版作成	宮城